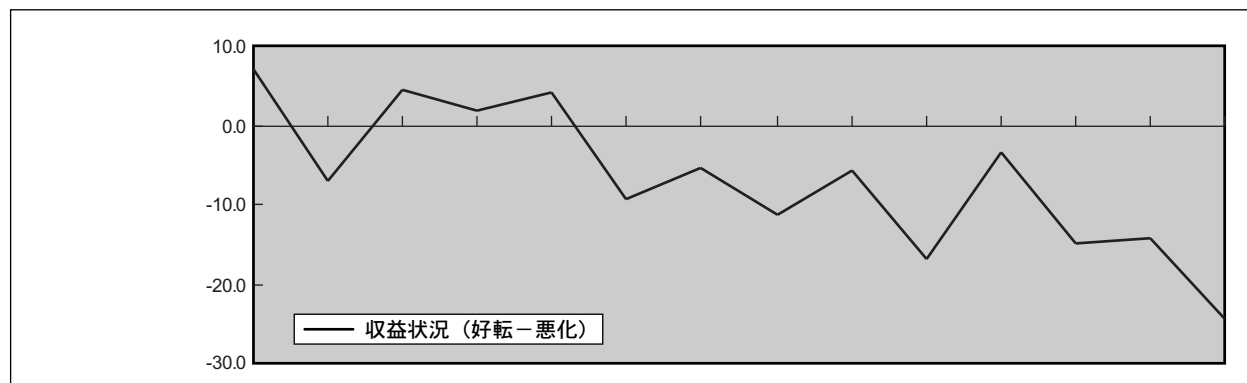


IV. 収益状況

収益状況（好転－悪化）

期別 種別	17年	18年				19年				20年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
好転	23.5	18.6	23.8	18.4	23.2	19.2	16.6	12.4	18.5	16.1	20.1	12.7	12.7	7.8		
横ばい	60.0	55.6	56.9	64.9	57.7	52.5	61.3	63.9	57.5	50.8	56.5	59.5	60.4	59.9		
悪化	16.5	25.7	19.1	16.7	19.1	28.4	22.1	23.7	24.1	33.1	23.4	27.7	26.9	32.3		
D.I.	7.0	-7.1	4.4	1.7	4.2	-9.2	-5.5	-11.3	-5.6	-16.9	-3.3	-15.0	-14.2	-24.4		



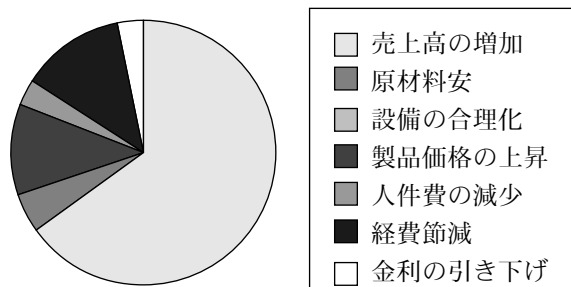
好転理由

期別 種別	17年	18年				19年				20年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
売上高の増加	69.1	56.3	64.6	61.9	61.5	69.4	61.4	66.2	64.4	58.9	57.0	65.1	62.9	60.9		
原材料安	2.7	7.1	2.4	6.2	4.9	3.1	1.1	1.5	2.3	2.2	0.9	4.8	4.8	4.3		
設備の合理化	1.8	2.7	2.4	4.1	2.5	4.1	4.5	3.1	2.3	2.2	1.9	0.0	1.6	2.2		
製品価格の上昇	4.5	12.5	9.4	9.3	10.7	6.1	6.8	7.7	6.9	14.4	17.8	11.1	12.9	17.4		
人件費の減少	5.5	1.8	2.4	6.2	5.7	6.1	3.4	3.1	6.9	5.6	6.5	3.2	4.8	2.2		
経費節減	16.4	16.1	17.3	12.4	14.8	11.2	21.6	16.9	16.1	13.3	15.9	12.7	11.3	6.5		
金利の引き下げ	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	0.0	1.1	1.5	1.1	3.3	0.0	3.2	1.6	6.5		

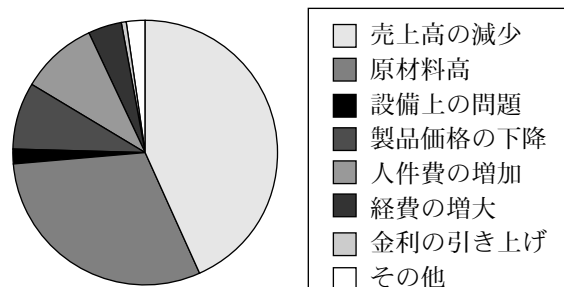
悪化理由

期別 種別	17年	18年				19年				20年				見込	予測	
	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月	4～ 6月	7～ 9月	10～ 12月	1～ 3月		
売上高の減少	41.8	57.5	38.9	35.4	40.7	55.7	47.2	17.6	48.0	53.0	46.2	43.3	44.8	47.6		
原材料高	20.4	19.4	24.1	28.1	20.3	18.4	25.0	21.0	26.3	29.2	31.7	30.4	27.9	26.2		
設備上の問題	0.0	0.7	2.8	1.0	2.5	0.0	1.4	2.1	1.3	0.0	0.0	1.8	1.2	2.1		
製品価格の下降	7.1	6.7	7.4	10.4	8.5	5.1	6.9	11.9	5.3	4.8	4.8	8.2	8.7	6.8		
経費の増大	11.2	2.2	5.6	15.6	10.2	7.0	10.4	10.5	11.8	5.4	9.0	9.4	10.5	11.5		
人件費の増加	8.2	9.7	12.0	4.2	8.5	6.3	2.8	4.2	5.3	5.4	4.8	4.1	4.1	4.2		
金利の引き上げ	0.0	0.7	0.0	1.0	1.7	2.5	2.8	0.0	0.0	0.6	1.4	0.6	0.0	0.0		
その他	11.2	3.0	9.3	4.2	7.6	5.1	3.5	2.8	2.0	1.8	2.1	2.3	2.9	1.6		

好転理由



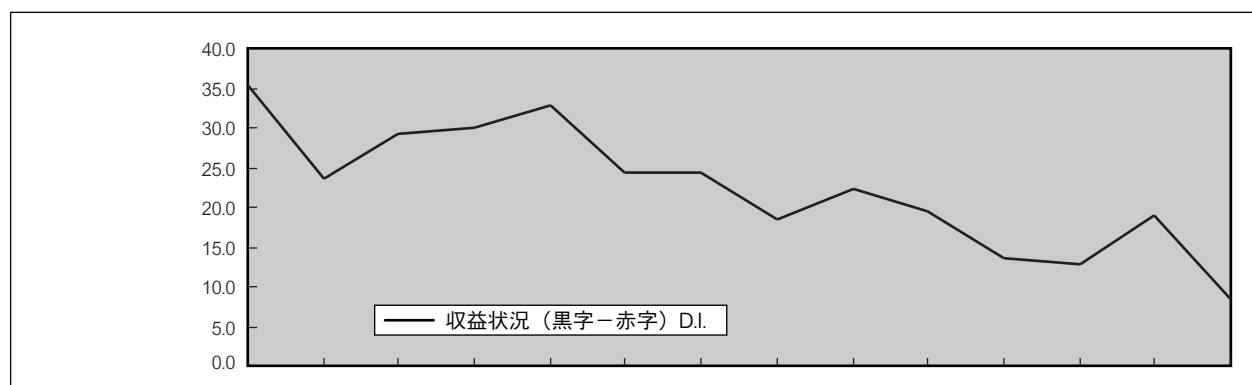
悪化理由



- (1) 収益状況「好転－悪化」D.I.は、▲15.0と前期比11.7ポイント悪化した。先行きについては、20年10～12月期D.I.は今期よりやや改善見込となっている。21年1～3月期では、▲24.4と大幅に悪化予測の回答となった。□
- (2) 今期収益が好転したとの回答からの好転理由は、「売上高の増加」「経費削減」「製品価格の上昇」となっている。「売上高の増加」の回答は前期比やや増加しているが、「経費削減」「製品価格の上昇」との回答ポイントは減少となった。□
- (3) 収益が悪化した理由は、「売上高の減少」「原材料高」「経費の増大」が高いポイントとなった。「売上高の減少」「原材料高」との回答はやや減少となったが、「製品価格の増加」を悪化理由としたポイントが増加した。

収益状況（黒字－償却後赤字）

種別	期別	（%）													見込	予測		
		17年				18年				19年				20年				21年
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月			
黒字		48.5	44.4	43.8	44.6	48.5	43.5	43.0	38.3	41.9	39.1	34.7	34.3	35.0	29.3			
収支トントン		38.3	34.9	41.6	40.8	35.7	37.3	38.4	41.9	38.6	41.3	44.1	44.1	49.1	49.9			
償却後赤字		13.2	20.7	14.6	14.6	15.8	19.3	18.6	19.8	19.5	19.7	21.2	21.6	15.9	20.9			
D . I .		35.3	23.7	29.2	30.0	32.8	24.3	24.4	18.5	22.4	19.4	13.5	12.7	19.1	8.4			



- (4) 収益状況「黒字－償却後赤字」D.I.は、今年に入り低下してきている。20年7～9月期も12.7と前期比0.8ポイント悪化となった。17年10～12月期の調査以降、最低のポイントとなり、収益の悪化状況がうかがえる。先行きについては、10～12月期は改善見込となっている。しかし、来年は再び悪化予想である。収支トントンとの回答ポイントが増加し、黒字とする回答はやや減少している。